

## 第129回リニアドライブ技術委員会議事録（案）

日時：平成24年4月20日(金) 13:30～16:30

場所：JR東海 品川ビルA棟

出席者：委員長 北野（JR東海）  
 副委員長 水野（信州大）  
 委員 上田（東芝），海老原（IEEJ），小林（三菱電機），白石（安川電機），  
 中川（東京都市大），大橋（関西大），増澤（茨城大），樋口（長崎大），  
 平田（大阪大），矢野（産総研），脇若（信州大），渡邊（IEEJ）  
 幹事 鳥居（東京都市大），村井（JR東海）  
 幹事補佐 矢島（SMC）（記），和多田（東京都市大）

## 提出資料

- 129-1 第128回リニアドライブ技術委員会議事録（案）（矢島幹事補佐）
- 129-2 第106回（H23年度第4）産業応用部門研究調査運営委員会 議題（北野委員長）
- 129-3 技術報告作成時におけるIEEEへの引用許諾費用の支払いについて（北野委員長）
- 129-4 リニアドライブ技術関連カレンダー（矢島幹事補佐）
- 129-5 平成24年電気学会産業応用部門大会シンポジウム（渡邊委員）
- 129-6 7月19, 20日TER/LD合同研究会について（会場決定のご連絡）（北野委員長）
- 129-7 2012年3月電気学会全国大会シンポジウム開催報告（矢野委員）
- 129-8 2012年3月産業応用フォーラム実施報告（大橋委員）
- 129-9 産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会 活動方針及び報告書（渡邊委員）
- 129-10 環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会（大橋委員）
- 129-11 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会 設置趣意書（小林委員）
- 129-12 委員会構成員変更届（小林委員）
- 129-13 委員会構成員変更届（上田委員）
- 129-14 新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会（MDD）活動報告（矢野委員）
- 129-15 環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会（MLV）活動報告（大橋委員）
- 129-16 産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会（MEL）活動報告（渡邊委員）
- 129-17 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会（MEL）活動報告（小林委員）
- 129-18 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会（MDD）活動報告（上田委員）
- 129-19 第3回環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会 議事録（大橋委員）
- 129-20 第12回産業用リニアドライブ技術と応用の変遷調査専門委員会 議事録（渡邊委員）
- 129-21 第17回新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会 議事録（矢野委員）
- 129-22 第18回新世代アクチュエータの多自由度化可能性調査専門委員会 議事録（矢野委員）

## 議事

## 1. 議事録確認

資料129-1を基に、矢島幹事補佐から第129回委員会の議事録が確認され、下記を修正の上、承認された。

- ・誤字（121件→151件，ICEMS2011→ICEMS2012）

## 2. 報告事項

- 2.1 資料129-2，資料129-3を基に，北野委員長から3月5日に開催された第106回産業応用部門研究調査運営委員会の審議事項について報告があった。
- 2.2 資料129-4を基に，LD技術関連の行事が確認された。更新し，都度委員会で配布する。
- 2.3 資料129-6を基に，北野委員長から，7月に開催されるTER/LD合同研究会について案内があった。
- 2.4 資料129-7を基に，矢野委員から，3月23日に電気学会全国大会のシンポジウムの開催報告があった。
- 2.5 資料129-8を基に，大橋委員から3月9日に開催された産業応用フォーラムの実施報告があった。
- 2.6 資料129-9を基に，渡邊委員からMEL委の活動方針及び報告書が説明された。本報告書は電気学会事務局に提出済み。
- 2.7 資料129-10を基に，大橋委員からMLV委の活動方針及び報告書が説明された。本報告書は電気学

会事務局に提出済み。

- 2.8 資料 129-11 を基に、小林委員から MEL 委の設置趣意書が説明された。本設置趣意書は上部委員会で承認され、4月に MEL 委が設置済み。
- 2.9 資料 129-12 を基に、小林委員から MEL 委の委員追加が説明された。5名を追加し、北野委員長の承認済み。
- 2.10 資料 129-13 を基に、上田委員から MDD 委の委員追加・退任委員が説明された。7名を追加し、2名の退任があり、北野委員長の承認済み

### 3. 審議事項

- 3.1 Web を用いて、各委員が予定・実行を入力できる LD 技委の共有カレンダーを作成することが提案され、検討することになった。
- 3.2 資料 129-5 を基に、8月に開催される平成 24 年電気学会産業応用部門大会において MEL 委からシンポジウムを行うことが提案され、承認された。今秋に予定されていた MEL 委の産業応用フォーラムは、H23 電気学会全国大会の内容を盛り込み、時期を半年くらいずらして開催することとなった(担当は MEL 委)。
- 3.3 上田委員から、MDD 委では Skype を用いて遠隔会議を検討していると説明があった。双方向は難しく、電気学会で東京-大阪間は専用回線を準備してほしいという意見があった。
- 3.4 北野委員長から、現在 LD 技委の調査専門委員会が 3 つとなっており、年内くらいに新しい調査専門委員会を立ち上げたいと提案があり、平田委員が検討することとなった。
- 3.5 8月の LD 研究会(関西)で優秀論文発表賞の表彰式を行うことが提案され、承認された。その際の交通費は LD 技委でサポートする。
- 3.6 毎年 5 月などに間口の広い研究会を開催することが提案され、検討することになった。(以前は、「合同ミーティング」や「若手シンポジウム」が開催されていたが、産業応用部門全国大会が同時期に開催されるようになり、開催されなくなった。)
- 3.6 2017年の LDIA を日本で開催することが提案され、承認された。

### 4. 各調査専門委員会活動報告

資料 129-14～資料 129-22 を用いて、各調査専門委員会から活動報告があった。

以上